

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年10月16日

計画の名称	緊急輸送道路となっている街路の無電柱化（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	三重県												
計画の目標	緊急輸送道路における無電柱化による安全な歩行空間の確保や都市災害の防止及び都市内の良好な景観を形成することで、安全で住みやすく魅力あるまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,976	A	2,976	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	緊急輸送道路の無電柱化対策割合を19%（H29年度当初）から60%（H33年度末）へ拡大 交付対象事業の内、緊急輸送道路の無電柱化必要延長の内、評価時点までの無電柱化対策実施延長の割合を算出する。 無電柱化対策割合 = 無電柱化対策実施延長 / 無電柱化必要延長	H29当初	H31末	H33末
		19%	60%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)松阪公園大口線外 1線	改築 無電柱化 L=0.82km	松阪市						500	-	
	A01-002	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)伊賀上野橋新都市 線	改築 無電柱化 L=0.04km	伊賀市							121	-
	A01-003	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)外宮度会橋線	無電柱化 L=0.2km	伊勢市							190	-
	A01-004	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)尾鷲港新田線	改築 無電柱化 L=0.36km	尾鷲市							2,030	-
	A01-005	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)外宮度会橋線(第 2工区)	無電柱化 L=0.67km	伊勢市							20	-
	A01-006	街路	一般	三重県	直接	三重県	S街路	改築	(都)外宮常盤線	無電柱化 L=1.04km	伊勢市							115	-
											小計							2,976	
											合計							2,976	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三重県県土整備部都市政策課において実施。	交付期間終了後
	公表の方法
	ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業の進捗により、無電柱化された道路延長の目標を達成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	無電柱化の完了により、防災機能の向上とともに安全で快適な歩行空間の確保、歴史的な町並みと調和する都市景観が形成された。
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	60%
	最終実績値	60%